

青翔保健医学 Journal 雑誌執筆要項

1 原稿の書式

原稿は横書きとし、常用漢字、新仮名づかいを用いてワープロ（原則として Word, Excel）で作成し、A4 判用紙に 40 字×25 行で印字する。フォントは 10.5 ポイント、日本語は MS 明朝全角、英数字は Times Roman (Times New Roman) 半角を標準とする。論文中の句読点の表記は、「,」（カンマ全角）および「.」（ピリオド全角）を使用するものとする。

2 抄録

論文（原著論文・総説・症例、報告）には、450 字以内の抄録を記載する。構造化抄録の標準構成は、目的、方法、結果、結論とする。見出しの表記は、目的:, 方法: など、「:」（コロン）をつけて記載する。

抄録には日本語の論文タイトルと英語の論文タイトルをそれぞれ記載すること。また、抄録の末尾に適切な日本語および英語のキーワードを 3~6 語付す。

3 提出するもの

3.1 論文を投稿する場合は以下の書類をそろえて末尾に記載した提出先へ提出する。

- ① 投稿論文チェックシート（様式指定）
- ② 投稿論文表紙（様式指定）
- ③ 和文抄録
- ④ 論文原稿（本文、図表、図表の一覧。本文のはじめに論文題目を記入する）
- ⑤ 同意確認書（様式指定）

3.2 上記提出書類のうち①~④については、印刷物のほかに電子媒体を併せて提出する。

3.3 英文抄録は、掲載確定後に作成し、提出する。

4 共著者

共著者は、投稿された論文に重要な知的貢献をした者に限る。重要な知的貢献をした者とは、研究の着想、デザイン、またはデータの入手、分析、解釈に重要な貢献をした者、あるいは原稿の作成に関与し、論文の内容について責任を負うことができ、研究への十分な参加をしている者である。

投稿に際しては必ず共著者の同意を得、共著者全員が署名した「同意確認書」を添付する。共著者の数は必要最小限にとどめ、研究の協力者は共著者とはせず、謝辞の中に記載することが望ましい。

5 原稿の構成

原著論文の標準構成は以下の通りとする。

- I. はじめに
- II. 方法
- III. 結果
- IV. 考察
- V. 結論

謝辞，文献，注がある場合は，それぞれ謝辞，文献，注の順番で記載する。

6 章，項目の番号

各章の表題はI. II. III.のようにローマ数字による番号付けをし，章中の項目は1. 2. 3.のようにアラビア数字を用いる。項目以下には1) 2) 3)を用いる。アラビア数字や外国語の文字は原則として半角とする。

7 単位

度量衡は原則として国際単位系（SI 単位）を用いる。

8 略語

略語は，初出のときに正式名称のあとに括弧書きで記入する。

9 図表等

図表等とは図表および写真を示す。

- 図表は本文とは別に作成し，A4判 1枚に 1つの図または表とする。
- A4判 1枚につき 400字として換算し，A4判を超過する場合は，1つの図表が最大A4判 2枚までとする。
- 図表には図 1.表 1.のように通し番号を付し，用紙の右下端に論文題目を記入する（氏名は記入しない）。
- 別紙に論文題目と図表の一覧（タイトルとキャプション）をまとめて記載し添付する。
- 図表のタイトル，キャプションは，本文が日本語の場合は日本語・英語のどちらで記載してもよい。

また，原稿本文中の欄外余白部に図表を挿入すべき位置を記入する。

① 図

縦軸，横軸の名称や，縦軸の数値の単位など必要な情報を記入する。通し番号，タイトル，キャプションを図の下に記載する。

② 表

罫線の使用は，必要なものだけに限定し，できるだけ垂直罫線は使用せず，水平罫線のみを使用する。表中の数値の表示は，小数点以下の桁数をそろえる。また，小数点の位置を縦方向でそろえる。通し番号，タイトル，キャプションを表の上に記載する。

③ 写真

写真は図の作成に準ずるものとするが，キャビネ判大（12 cm×16.5 cm）の印画紙に焼き付けた

ものを A4 判の台紙に貼付するか、A4 判にプリントしたものとする。

原則として、紙上ではモノクロ、web での公開時にはカラー掲載とするが、紙上もカラー写真で掲載を希望する場合は、カラー印刷代の実費は著者負担とする。

10 資料・付録

必要に応じて「資料」または「付録」を本文末尾に添付できる。

A4 判 1 枚あたり 400 字（英文の場合は 100 語）換算とし、1 つの資料・付録が A4 判を超過する場合には、最大 A4 判 4 枚までとする。資料・付録の文字数は本文の文字数に含めて換算する。

11 文献

- 本文中に文献を引用する場合は、その箇所の上肩に ¹⁾ や ^{1, 2, 9-12)} などと示す。文章の切れ目につける場合は、カンマ、ピリオドの直前の上肩に記す。
例) 良好な成績を示す場合があることが報告されている ¹⁻³⁾。
例) このことについて Kanayama ら ¹⁾ が述べているように・・・
- 引用した文献をまとめて文献一覧を作成し、本文末尾に記載する。文献一覧は 1) 2)・・・と順に通し番号を付して引用順に並べる。未発表の論文は文献リストに含めない。印刷中の論文は印刷中或いは in press と記してリストに加えてもよい。
- 文献の著者名は、著者が 3 名以内の場合は全員の名前を記載し、4 名以上のときは 3 名まで記載し、残りは [ら]、または [et al.] とする。著者間は英文も & を入れずにカンマで区切る。
- 雑誌の論文表題、書籍の表題は、最初の文字のみ大文字とする。書籍名、雑誌名は冠詞、接続詞、前置詞を除いて各語の初字を大文字で書く。その場合、一番初めの語の最初の文字は、冠詞、接続詞、前置詞であっても必ず大文字とする。
- 文献の記載方法は、下記の例に従う。なお、文献一覧中の「,」「.」「;」「:」「-」などの記号は日本語文献の場合も半角を使用する。

① 雑誌の場合

著者名. 論文表題. 雑誌名 発行年; 巻(号): ページ

雑誌で、通巻ページと各号ごとのページが併記されている場合は、通巻ページを優先して記載する。通巻ページを記載した場合は、巻のあとの(号)は記入する必要はない。

和雑誌は正式名称を記載する。洋雑誌の場合、略称を使用するときは、Index Medicus に従う。

例) 1) 池田俊也,北里博仁,野田光彦ら.薬剤経済学研究に関する最近の話題:医療データベースの薬剤経済評価への応用.臨床薬理 2010;41(6):281-286

2) Friedman W, Sybert GW, Munson JB, et al. Recurrent inhibition in type-identified motoneurons. J.Neurophysiol.1981;46:1349-1359

3) Maurel W, Thalmann D. A case study on human upper limb modeling for dynamic simulation. Computer Methods in Biomechanics and Biomedical Engineering 1999;2:1-17

② 書籍の場合

著者名 (訳者名). 表題. 書籍名. 出版地: 出版社, 発行年: ページ

訳本の場合は著者名と訳者名の両方を記載し、著者名は訳本の記載に従う。訳者名は著者名の後

の () に [訳] [tr.] を付して書く。

編者名は [編] [ed.] を付して、著者名の位置に書く。

版次、巻次がある場合には、書籍名の次に「.」で区切って記載する。出版年はその版次の初刷の出版年を書く。

- 例] 1) 南雲直二.障害受容-意味論からの問い.第 2 版.東京:荘道社,2002:59-63
2) 内山孝憲,赤澤堅造.運動単位の活動様式を模擬する筋張力制御のためのニューラルネットワークモデル.バイオメカニズム 15.東京:東京大学出版会,2000:143-152
3) シュポルスキー(玉木英彦他訳).原子物理学 I.東京:東京図書,1995:345-350
4) Braune W, Fischer O. Attitudes of the loaded body. On the Center of Gravity of the Human Body. New York: Springer-Verlag, 1985:71-90
5) Aichinger H, Dierker J, Joite-Bafub S et al. (笠井俊文, 加藤博和監訳).診断 X 線の基礎,東京:オーム社,2004:28-32

③ インターネット上の文献の場合

著者名. 記述された年. (不詳の場合は省略) 題目. URL 参照年月日

例] 1) 日本社会学会. 2006. 日本社会学会倫理綱領にもとづく研究指針.

<http://www.gakkai.ne.jp/jss/about/shishin.pdf> 2012.6.11

インターネット上の文献については、インターネット以外の手段では入手困難であり、かつ学術機関・公的機関などが発行する信頼性が確保されたホームページおよび電子刊行物の情報で、かつ一般読者に利用可能でなければならない。

④ 電子化された資料の場合

電子書籍、電子ジャーナルからの場合は、印刷媒体と同様の書誌情報に加え、その電子書籍を閲覧した際に用いた媒体の種類、またはインターネット利用の場合は、URL と参照年月日を記載する。

例] 1) 石田佳代子. 看護系大学の新人教員に対するファカルティ・ディヴェロップメント(FD) 推進のための文献調査に基づく課題. 看護科学研究 2010; 9(1): 10-18

12 注

注を使用する場合は必要最小限にとどめ、脚注にせずに本文中の必要箇所の右肩に^{注1}などと示し、一覧は文末に注1 注2・・・と、通し番号を付して掲載する。

13 利益相反および公的研究費の開示

利益相反関係がある場合には、関係する企業・団体名も記載する。

また、研究費の補助を受けている場合、公的機関や私的企業の名称等を明記する。

例) ・報告すべき利益相反はない。

- ・本研究は〇〇〇〇の資金提供を受けた。
- ・〇〇〇〇の検討に当たっては、〇〇〇〇から測定装置の提供を受けた。
- ・本論文は〇〇年度科学研究費(8桁の課題番号)の助成を受けた。

14 ページの記入

原稿には用紙の下端中央にページを記入する.

2020年5月26日 草案作成 (RT 夏目)

2020年5月29日 草案 ver.2 作成 (RT 夏目)